

第 62 回日本糖尿病学会年次学術集会会長候補  
所信

小田原 雅人  
東京医科大学

糖尿病・代謝・内分泌・リウマチ・膠原病内科学分野

糖尿病慢性合併症は世界的な脅威であり、世界保健機関は糖尿病を非感染性疾患の最重要疾患の一つとしています。糖尿病の予防や治療分野の基礎、臨床研究の進展は著しく、薬物療法も進歩し、今後 iPS 細胞を用いた糖尿病の根治をめざした研究も進んで行くと考えられます。また心血管疾患、認知症、腎疾患、感染症、悪性新生物、眼科疾患、歯科疾患等の諸疾患との関連が重要になっており、大規模臨床試験等による治療効果の検証の重要性も増して来ています。このような背景を踏まえ、私は年次学術集会を、糖尿病に関連する多分野における基礎、臨床研究の優れた知見を多数発表していただく機会にしたいと考えております。『糖尿病と合併症：克服へのチャレンジ』をテーマに、糖尿病の原因、病態の解明、治療の進歩に、大きく寄与できる契機となる学術集会にしたいと考えます。

是非とも、ご支援頂きますよう、宜しくお願い申し上げます。